



水泳競技 競泳 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選10レーン、決勝8レーンでタイムスケジュールどおりに実施する。
- (3) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者(棄権チーム)が出た場合、次点上位から順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (5) 補欠は2名(2チーム)とし、補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。
- (6) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカード・国民体育大会選手カードを持参すること。招集所受付で、ADカード・国民体育大会選手カードの確認、水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日の予選競技開始20分前までにリゾリユーションデスクに届け出ること。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内にリゾリユーションデスク届け出ること。
- (8) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (9) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (10) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、リレー競技は自レーンから退水すること。決勝1位の選手ならびに1位のチームは自レーンから退水し、フラッシュインタビューを受けること。
- (11) 選手紹介は、予選は入場後に紹介する。決勝は、入場ゲート前で、氏名・都道府県名の紹介を受けてから入場すること。なお、決勝の入場順は8、1、7、2、6、3、5、4レーンの順に入場する。
- (12) リレーオーダーは、下記の時間までにリゾリユーションデスクに提出すること。

1日目・9月14日(土)		2日目・9月15日(日)		3日目・9月16日(月)	
予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技	予選競技	決勝競技
9:30	14:00	9:15	13:45	9:15	12:30

- (13) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (14) 本大会は、JADAによるドーピング検査対象となるので、常にADカード・国民体育大会選手カードを携帯すること。

2 全体スケジュールについて

期 日	事 項	選手控所 開場時間	プール 開場時間	予選競技		決勝競技		閉門時間 (予定)
				開始時間	終了時間	開始時間	終了時間	
9月13日(金)	公式練習日	7:30	8:00	8:00 ~ 18:00				18:15
9月14日(土)	1日目	7:00	7:15	9:30	12:40	14:15	17:55	18:40
9月15日(日)	2日目	7:00	7:15	9:15	12:25	13:55	17:40	18:30
9月16日(月)	3日目	7:00	7:15	9:15	12:10	12:45	16:10	17:00

開 始 式 9月14日(土) 9:15~ 総合表彰式 9月16日(月) 全競技終了後

3 表彰について

- (1) 1位~3位に賞状を授与し表彰する。4位~8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰時において、小旗・タオル・県旗等の持ち込みは禁止する。
- (3) 賞状の受け渡しは、賞状引渡所で行う。

## 4 プールの使用について

### (1) メインプール

- ① 水深は2m、水温は27.5度に設定する。
- ② バックプレート付きのスタート台を設置する。
- ③ 練習は3日間とも9:00までとする。
- ④ 0・9レーンをダッシュレーンとする。(バックストロークレッジを設置)0レーンをスタート側からの一方通行、9レーンを折り返し側からの一方通行とする。
- ⑤ 公式スタート練習は、3日間とも8:20~9:00に行う。公式練習日は11:00~12:00、16:00~17:00に行う。
- ⑥ 8レーンをペースレーンとする(クロールのスイムでのみ使用可)。ただし、ダッシュレーン・ペースレーンは利用状況により、大会本部が別途設定し、通告・電光掲示板で指示を行う。
- ⑦ 昼休みの練習は、決勝出場者のみとする。
- ⑧ パドル・コード類の使用を禁止する。

### (2) サブプール (50m×8レーン)

- ① 水深は1.4m、水温は27.5度に設定する。
- ② 8レーンをダッシュレーンとする。(バックストロークレッジを設置)  
※スタート練習はメインプール側からの一方通行とする。水深に十分注意すること。
- ③ 7レーンをペースレーンとする(クロールのスイムでのみ使用可)。
- ④ コード類の使用は安全に留意し、1レーンでのみ許可する。

## 5 その他

- (1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (2) 招集所・サブプールにモニターを設置する。
- (3) 公式掲示板を、山新スイミングアリーナサブプール(選手・監督用)、2階エントランス(一般用)の2カ所に設ける。
- (4) プログラムは1,500円で販売する。
- (5) 決勝スタートリストを200円で販売する。また、各都道府県には5部ずつ、選手控え場所に設置する各県のレターケースに配布する。
- (6) Eテレ(NHK教育テレビ)の放送について  
14日(土)15:00~16:45<LIVE>、15日(日)15:00~16:30<LIVE>、16日(月)15:00~16:00<録画>
- (7) 競技結果を、以下の公式サイトにて確認することができる。
  - ・SEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)
  - ・日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)

## 6 注意連絡事項

### (1) 会場使用について

- ① ADカードは宿泊施設で配布する。競技会場にいるときは常時首から下げて提示する。プールに来場する場合は、監督が責任をもって渡すこと。選手は、顔写真を添付した国民体育大会選手カードを、写真が見えるようにADカードの裏面に挿入すること。18歳未満の選手は、保護者(親権者)の署名、捺印を必要とする。※国民体育大会選手カードについては受付案内所(選手・監督)において事前確認を行う。最初に出場する予選競技の招集までに事前確認を終わらせること。  
監督・チームスタッフは、ADカードに顔写真を添付し、競技会場にいるときは常時首から下げて提示すること。また、入退場に際しては、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。万一紛失した場合は、受付案内所(選手・監督)において再発行の手続きをすること。  
※国民体育大会選手カードおよびADカードの顔写真は、必ず糊付けをすること。

- ② 選手・監督・チームスタッフの入退場は、選手控所からとする。
- ③ 一般入場の入口は、入退場ゲートより8:15からとし、出口も同様とする。
- ④ 撮影許可証は必要としない。ただし撮影時には、以下の注意事項を順守すること。

《注意事項》

- ア. 会場内では、指定された場所（観覧席）で撮影すること。
- イ. フラッシュを使用しての撮影は厳禁とする。
- ウ. 不審な撮影行為は、場内司令員・警備係が事情聴取をし、場合によっては警察に通報する。不審な撮影行為を見かけたら、場内司令員・警備係に連絡し協力すること。
- エ. 個人情報保護法に抵触しないよう十分に注意すること。

- ⑤ チームバスおよびシャトルバスを利用すること。また、事前に指定された駐車場に、各都道府県2台の駐車を可能とする。

(2) 選手控え場所について

- ① 選手席はエリアを指定する。
- ② 選手控え場所の敷物等は整理整頓し、ごみの処理を徹底すること。

(3) マッサージスペースについて

選手控え場所の指定されたスペースを利用すること。

(4) 更衣室について

- ① メインプールおよびサブプールの男子更衣室・女子更衣室に、都道府県用ロッカーを指定する。指定ロッカーを使用する場合は必ず施錠すること（盗難防止のため）。鍵を紛失しないよう注意し、万一鍵を紛失した場合は、実費を徴収する。
- ② 更衣室へのマッサージ台・敷物等の持ち込みは禁止とする。
- ③ 更衣室のロッカー内の荷物は、毎日持ち帰ること。置き荷物は忘れ物として扱い、全日程終了後処分する。

(5) 貴重品について

持ち物や貴重品は各都道府県で管理し、盗難には十分に注意すること。万一盗難が発生した場合、大会本部はその責任を負わない。

(6) ごみの処理について

競技会場で発生するカン・ビン・ペットボトル等については、分別して処理すること。種類別のごみ箱を用意する。また、乾電池等の対象外のごみは各自で必ず持ち帰ること。